

画家たちの伊豆大島(上)

身近な南の楽園にあこがれ

明治末から大正初期に活躍した洋画家の伊豆大島を描いた作品が、大島市立美術館で展示されている。大島は、南の楽園として、多くの洋画家に愛された。その中でも、大島を描いた洋画家の伊豆大島を描いた作品が、大島市立美術館で展示されている。

本土にない風物 画題に事欠かず

大島は、南の楽園として、多くの洋画家に愛された。その中でも、大島を描いた洋画家の伊豆大島を描いた作品が、大島市立美術館で展示されている。大島は、南の楽園として、多くの洋画家に愛された。その中でも、大島を描いた洋画家の伊豆大島を描いた作品が、大島市立美術館で展示されている。



和田三造「南風」

(複製元:北沢, 1979年, 油彩, 木トランス, 131.5×102.4cm, 伊豆大島市立美術館蔵) Photo: MIZUHO PHOTO

大島は、南の楽園として、多くの洋画家に愛された。その中でも、大島を描いた洋画家の伊豆大島を描いた作品が、大島市立美術館で展示されている。大島は、南の楽園として、多くの洋画家に愛された。その中でも、大島を描いた洋画家の伊豆大島を描いた作品が、大島市立美術館で展示されている。



中村舜一「大島風景」

複製元: 大島市立美術館蔵
Photo: MIZUHO PHOTO

大島は、南の楽園として、多くの洋画家に愛された。その中でも、大島を描いた洋画家の伊豆大島を描いた作品が、大島市立美術館で展示されている。大島は、南の楽園として、多くの洋画家に愛された。その中でも、大島を描いた洋画家の伊豆大島を描いた作品が、大島市立美術館で展示されている。